

爬虫類・両生類用 紫外線照射 LED



# REPTILE SPOT UV LED

レプタイル スポット UV LED

D25 / D40

このたびは、レプタイル スポット UV LED シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は紫外線 (UVA、UVB) を照射する LED ランプです。

- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよく読み、十分に理解してからご使用ください。
- この取扱説明書は保証書も兼ねています。必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合はこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

発売元 **神畑養魚株式会社** 用品部  
〒670-0073 姫路市御立中3-3-20  
Tel.(079)297-5420 Fax.(079)293-6467  
ホームページアドレス <https://www.kamihata.co.jp>

機種名	D25	D40
品番	754210	754240
品名品目	爬虫類・両生類用 LED ランプ	
用途	屋内用 爬虫類・両生類飼育用	
定格電圧	AC100V	
周波数	50/60Hz	
定格消費電力	5W	
口金	E26	
本体サイズ	約 直径 60× 高さ 75mm (口金部含む)	
本体色	白	黒
演色性(Ra)	92.2	94
LED 素子構成	UVAx6 UVBx1 4000Kx4	UVAx6 UVBx2 4000Kx4
最低照射距離	20cm	30cm
色温度	約4000~ 4500K	
照射角度	60°	
ランプ寿命	約 8000 時間	
原産国	中国	

- ※ ランプ寿命はあくまで目安であり、使用期間を保証するものではありません。使用状況により実際のランプ寿命と異なる場合があります。
- ※ 本製品は改良のため、予告なく仕様、デザイン等を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

● 本製品は紫外線 (UVA、UVB) を照射する LED ランプです。

- 屋内での爬虫類・両生類飼育のみに使用し、その他の用途には使用しないでください。
- 種類や生息地域により、紫外線環境は様々です。(「ファーガソンゾーンについて」参照)。飼育生体・条件に合った製品を使用し、様子をしっかりと観察しながら照射距離や照射時間を調整してください。生体を購入された販売店様などにご相談されることをおすすめします。
- 飼育ケージ内には、必ずシェルター(日陰・退避場所)を設置してください。
- 夜行性の爬虫類には不向きな場合があります。
- 本製品は保温球としては使用できません。温度調整には別途ヒーター、保温球などをご用意ください。
- 紫外線は人間の目や皮膚に有害です。光を直視したり、皮膚に近づけないでください。

警告

- 正しい電源電圧(AC100V) および周波数(50/60Hz)以外の電源で使用しないでください。(故障、火災のおそれあり)
- 本製品の取り付けの際は、必ず取り付けの灯具の仕様を確認したうえで、適合する製品(E26 口径)を使用してください。(故障、短寿命、火災のおそれあり)
- 本製品の取り付け・交換・点検の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。(感電、やけどのおそれあり)
- 本製品は大量の紫外線を照射します。点灯中のランプを直視したり皮膚に近づけないでください。(目・皮膚を損傷するおそれあり)
- 本製品や灯具が飼育生体やアクセサリ等に直接触れないように設置してください。
- 本製品や灯具を濡らしたり、水中に落としたりした場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、絶対に再使用しないでください。(感電、発火のおそれあり)
- 点灯中は紙や布でおおったり、近くに燃えやすいものを置かないでください。(発火のおそれあり)
- 本製品を分解・改造したり、構成部品を変更して使用しないでください。(故障、感電、火災のおそれあり)
- 本製品を乱暴に扱ったり、衝撃を加えたりしないでください。
- 製品に破損のある状態では絶対に使用しないでください。
- 煙や臭気が発生した場合はただちに電源を切り、販売店または弊社までご連絡ください。再使用はしないでください。

- 水滴のかかるところ、湯気や結露など湿気の多すぎる所、ほこりの多いところなどで使用しないでください。(感電、発火、故障のおそれあり)
- 調光機能のついた灯具や非常用照明器具、誘導灯器具、水銀灯器具には使用しないでください。
- お子様の手の届かないところに保管してください。また、光がお子様の目に直接入らない高さに設置してください。

注意

- 屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 点灯中や消灯直後は高温のため、触らないようご注意ください。
- 周囲温度が 35℃を超える環境では使用しないでください。
- ランプは灯具に確実に取り付けしてから電源を入れてください。無理な力をかけたり、締めすぎたりしないでください。
- 電源プラグは最後までしっかりと差し込み、タコ足配線などはしないでください。
- 紫外線はガラスやプラスチックなどに吸収されます。本製品と生体の間にはガラスフタなどの障害物を置かず、光が直接生体に当たるようにしてください。
- 本製品による紫外線照射により、ケージなど周りの製品が退色・劣化することがあります。
- お手入れの際は水かぬるま湯で濡らしてかたく絞った布などを使用してください。直接水をかけたり、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。

その他のご注意、お願い

- LED 素子にはバラツキがあり、同一製品やシリーズ製品で明るさや色調が若干異なる場合があります。
- ランプは寿命近くになると光量が低下し、波長分布帯も変化していくため、定格寿命より早めの交換をおすすめします。
- 本製品の使用における、本製品以外(生体・器具・家財など)に対する補償はいたしかねます。

設置のポイント

爬虫類・両生類は種類によって必要とする紫外線 (UV) の強さや浴び方はさまざまです。生体に合わせて、ケージ内環境や UV 照射方法(位置・強度・時間など)を調整してください。



重要

紫外線 (UV) 照射量はランプからの距離によって変わります。生体が効率的に紫外線を浴びられるよう、ケージ内に UV 勾配 (紫外線照射量が多い場所、少ない場所)を設けてください。

**シェードメソッド**  
ファーガソンゾーン1~2におすすめ

野生での日陰のような低レベルの UV を、ケージの大部分にわたって提供する方式。

※イメージ

弱 UV

隠れ家

**サンビームメソッド**  
ファーガソンゾーン2~4におすすめ

野生での日光浴 (バスキング) の UV 強度を再現し、UV を生体が自分で浴びられるようにする方式。

※イメージ

強 UV

隠れ家

バスキングスポット

※いずれの場合も、必ず UV が 0 になる場所 (隠れ家・日陰)を用意し、生体が自由に行き来できるようにしてください。  
※ファーガソンゾーンについては右ページをご参照ください。

【UV 勾配をつけるポイント】

- 流木や石などのアクセサリで立体的にランプに近づける場所を作る
- ケージの中心を避けて設置し、ケージ内にランプから遠い場所を作る
- シェルターなど、生体が紫外線を避けられる日陰を設置する

【その他、設置のポイント】

- 爬虫類・両生類の飼育に適した照明器具(E26 口金)を使用してください。
- 最低照射距離(D25:20cm、D40:30cm以上)をあけて設置してください。
- 紫外線はガラスやプラスチックなどに吸収されます。ガラスフタなどの障害物を置かず、光が直接生体に当たるようにしてください。
- 生体やケージ・アクセサリなどが直接ランプや照明器具に触れないようご注意ください。
- 1日 8 ~ 10 時間を目安に照射時間を調整してください。

ファーガソンゾーンについて

ファーガソンゾーン (Ferguson Zones) とは、アメリカの爬虫・両生類学者 Gary Ferguson 博士によって提唱された、爬虫類の種類ごとに適切な紫外線量の範囲を分類した基準です。多くの野生個体を観察し、実際にどれくらいの紫外線環境で生活しているかを調べ、そのデータをもとに 4 つのゾーンに分けられています。

ゾーン 1	薄明かりや日陰を好み、UV 勾配が非常に緩やかな環境に生息。ごく少量しか UV を必要としないため、日中も日光浴をすることがほとんどありません。
ゾーン 2	薄明かりや日陰を好み、UV 勾配が緩やかな環境に生息していますが、時折日光浴をおこないます。
ゾーン 3	日中の限られた時間帯や半日陰で日光浴をおこないます。そのため日光浴をおこなう高い UV 環境エリアから UV が 0 になる物陰へと大きな UV 勾配を作る必要があります。
ゾーン 4	1 日中強い日光や高い UV レベルにも耐える種。しかしながら日光浴をおこなう時間帯の大半はおもに早朝や夕方のため、ゾーン 3 と同様に日光浴をおこなう高い UV 環境エリアから UV が 0 になる物陰へと大きな UV 勾配を作る必要があります。

垂直照射距離によるファーガソンゾーンの目安

右下の QR コードより飼育生体のファーガソンゾーンをお調べいただき、飼育生体に合った照射距離を調整してください。

照射距離	~20cm	20~25cm	25~30cm	30~45cm	45cm~
D25	危険域	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン3 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 シェードメソッド
照射距離	~30cm	30~35cm	35~45cm	45~65cm	65cm~
D40	危険域	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン3 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 シェードメソッド

※照射距離によるファーガソンゾーンは障害物のない状況で設置した時の計測を基準にしています。Giangarden ガラスケージの天面メッシュの上から照射する場合はファーガソンゾーンが 1 ~ 2 段階下がります。  
※シェードメソッド / サンビームメソッドについては左ページをご参照ください。



ファーガソンゾーンについて詳しくはこちら

ファーガソンゾーンに関するご注意

- 記載はあくまで目安です。設置環境や使用期間によって紫外線照射量は変化します。
- 記載されているゾーンに適合する種類であっても、照明直下で浴び続けると紫外線量が過剰になってしまう可能性があります。生体の様子を見ながら飼育環境の調整をおこなってください。
- ランプの位置、設置方法を工夫したり、隠れ家を設置してケージ内に UV 勾配ができるようにしてください。
- UV 要求量は、同じ種類であっても幼体、成体それぞれで変化する可能性があります。アルビノや低メラニン種は、普通種に比べ UV の体内への透過が増すため、曝露量を減らすなど特別な配慮が必要です。